

●全6講義が無料で視聴可能です。皆様のお申込みをお待ちしています！●

黄表紙vs 江戸幕府

中村 正明 教授 (近世文学・明治初期文学)

江戸時代中期から後期にかけて人気のあった戯作のひとつ、黄表紙。ふんだんに挿絵を盛り込んだ絵入り読みものである黄表紙は、江戸庶民の文化や風俗、生活をリアルに描き込んだ娯楽的な文学である。そこには同時代の揺れ動く世情・世相、頻発する事件・事故、自然災害までも垣間見ることができ、中でも特に大きく取り上げられたトピックに寛政の改革があった。ところが幕府は改革政治を卑俗な笑いの文学に取り上げられることを嫌い、弾圧を始める。ここに黄表紙界と江戸幕府との戦いが、静かに幕を開くのだった。

文法とは何か

水口 学 教授 (理論言語学・生物言語学・統辞論)

「文法」と聞いて学校で教わる英文法や古典文法を想像してつまらないものであると思う人もいるかもしれません。本講義では言語学の視点から文法を考察し、文法に対する新たな見方を提供したいと思います。学校で教わる英文法が実は科学的な文法研究の第一歩になることから始めて、文法がヒトであれば誰もが生まれながらに持っている自然物であることを明らかにします。そして文法が実際に生み出しているものを紹介し、科学的な文法研究へと誘いたいと思います。

円仁の旅

—東アジア歴史紀行から平安日本を読み解く—

山崎 雅稔 准教授 (日本古代史・朝鮮古代史)

遣唐使とともに中国に渡った円仁。この人物は、短期滞在の身分でありながら、天台宗を学びたいという一心で裏工作を続けて“不法滞在”に成功し、9年あまりを異国の地で過ごした。しかし、当時の情勢は、思い描いた天台聖地への巡礼を許さなかった。そればかりか、仏教弾圧により突如帰国を余儀なくされる。ここでは、彼の日記『入唐求法巡礼行記』を紐解き、その奇想天外な旅を通して中国・朝鮮との異文化間交流から平安時代日本の歴史を考える。

中国少数民族の昔話・伝説と信仰

立石 展大 教授 (中国民間説話)

昔話や伝説は、日本でも中国でも口伝で伝承されてきた。そして、口伝の際には、それを伝える人々の生活文化が、話に影響を与えている。その一方、話は文化や言語の壁を越えて伝播する。今回は、中国少数民族のトン族が伝える、祖先神の伝承を取り上げたい。現地で調査した際の写真などを用いて、調査地の生活の様子を紹介しつつ、聞き取り調査をした資料に見られる日本との共通性や、現地の生活文化を反映した伝承の特徴を解説する。

AI やロボットは心を持ちうるか？

—「心の哲学」の授業から

金杉 武司 教授 (西洋現代哲学)

質問に対して的確に答えを出してくれる生成AI、世界チャンピオンに勝利した囲碁ソフト、一流シェフの味を再現するロボット…。ここ数年、AI（人工知能）やロボットの世界は目覚ましい発展を遂げている。果たしてAI やロボットは心（思考や感情など）を持ちうるのか？ AIやロボットの心について考えることは、実は、私たち人間の心とはそもそも何なのかを考えることでもある。この時間では、哲学の一分野である「心の哲学」の世界を少しだけ覗いてみたい。

豊臣政権をめぐる通説的理解と新視点

～秀吉の弟秀長の存在を中心に～

矢部健太郎 教授 (日本中世史/戦国・織豊期の政治史)

豊臣政権に関する歴史的叙述は、研究者や歴史作家などによって数多くなされてきた。しかしながら、二十世紀までの通説には徳川時代の史料や歴史観によるバイアスがかかった部分も多く、近年では新たな視点による研究も提出されている。果たして、真の豊臣政権の姿とはどのようなものであったのか。2026年のNHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」の主人公豊臣秀長に焦点をあてて、通説と新説の相違点やそれぞれの妥当性について考えてみたい。

【 配信期間 令和8年8月5日(水)～8月31日(月) 】

